

令和4年度地球環境保全活動支援事業(後期)交付決定一覧

No.	補助金交付団体	事業の内容(要約)
1	(一社)香川県産業廃棄物協会 会長 松本 英高	・県内を高松・東讃・中讃・西讃の4地区に分け、そのうち今年度は1地区について、海岸に漂着している散乱ゴミや地域の不法投棄のゴミの回収作業を、協会と地元住民が協働して「海岸清掃ボランティア」として実施する。
2	桃陵八重桜を育てる会 会長 小國 聖治	・桃陵公園で発見された新品種の桜「桃陵八重桜」(今年4月に命名)の接ぎ木による育苗や鉢植え栽培を、合田邸内や町内ボランティアの庭で行う。 ・桃陵公園植栽予定地の準備(除草、耕耘、堆肥混合)を行い、桃陵公園内への植栽や手入れを行う。 ・(公財)日本花の会 樹木医田中秀明氏による桜の接ぎ木による育苗や栽培、剪定方法などのワークショップを実施する。
3	ときめき花蝶会 会長 佐藤 健	・多度津町西白方地区において、スナビキソウやフジバカマの植栽を行い、飛来するアサギマダラの観察会や「有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会」元会長による講演会を実施する。 ・また、町木である桜を育苗するため、植栽場所の整備を行う。令和5年度以降に御盤山不動坊参道へ植栽する。 ・西白方海岸の漂着物、特にプラスチックゴミを回収する等、清掃活動を年4回行う。
4	特定非営利活動法人こにふあくらぶ 会長 高橋 孝治	・3か所のヒノキ林の枝打ちや除伐、搬出間伐を行う。 ・間伐した材のうち建築材として利用できるものは製材所に持ち込み、その他大部分のものはボイラー燃料として無償で提供。
5	香川大学学生ESDプロジェクトSteeP 代表 松下 千華	・県民や企業のSDGsに対する意識向上を目的として、県の「かがわ地方創生SDGs登録制度」に登録している企業5社を学生が赴いて取材する。 ・各社の取組みについてそれぞれのリーフレットを制作し、県民にSDGsが身近なものであると理解してもらうとともに、県民自身がSDGsに取り組むきっかけにしよう発信する。
6	フィールドワーク 代表 久保田 慎一	・天然記念物であるコウノトリが県下でも飛来するようになり、昨年は高松西高校に隣接する神高池で60羽が確認されたが、県下での観察は研究や立証可能な形で実施されておらず、保護活動や生態をPRする根拠が乏しいことから、今回、高松西高校理学部生物班や野鳥の会、地域住民が中心となって継続的な調査を行うための、①事前学習会(日本コウノトリの会や東大の助教が講師)、②コウノトリ生態調査(目撃情報を登録できるアプリに登録)、③調査結果報告会(日本コウノトリの会やデータ分析者が講師)を実施する。